



Success! Weekly Letter

20坪の小スペースから始まる新時代のヘルスケア拠点



フィットネス業界は今、単なる「運動の場」から「健康複合サービス」へとシフトしつつあります。小さなスペースでも、コンディショニングマシンや最新の健康測定機器、トレーナーや管理栄養士のサポートなどを組み合わせることで、新たな価値を創出できる時代になりました。ここで紹介する事例は、**わずか 20 坪で“運動×測定×栄養×医療連携”を実現し、未病・予防から治療・介護まで包括的なサービスを提供する企業の取り組み**です。

具体的には、20坪の小スペースにコンディショニングマシンを使ったセルフストレッチや、骨盤を整えるエクササイズを提供。さらに、体成分分析装置「InBody380」、糖化度 (AGEs) 測定、ヘモグロビン測定、心電計、血圧測定、骨健康度測定、血管年齢、ストレスチェックなど、幅広い健康関連サービスを提供しています。これらは月額 3,300 円 (税込) で 24 時間 365 日、いつでも利用可能です。

また、管理栄養士が常駐するカウンターでは、月 1,100 円で食事や栄養についての相談が可能です。希望者には有料で「体内のエクオール産生

量」「口腔衛生状態」「尿内のナトリウム・カリウム比」などを測定し、その場で結果をお伝えします。測定後は管理栄養士によるカウンセリングや、サプリメントの提案へとつなげています。

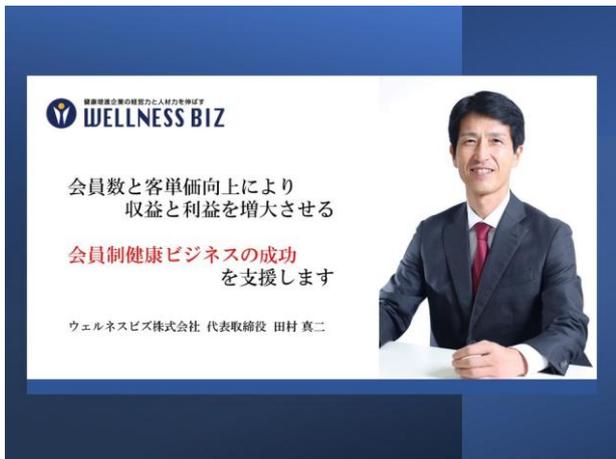
さらに、アバターを活用したオンライン健康相談サービスも「無料」で提供。提携する医療機関の看護師が遠隔で対応する仕組みです。—さて、この多角的なサービスを展開しているのはどのような企業でしょうか？

それは、ドラッグストア最大手でイオンの子会社であるウエルシアホールディングス株式会社の「ウエルシア薬局株式会社」です。同社は社会的ニーズを捉えた新サービスを新たに打ち出し、今年3月からはヘルスケアサービス「Care Capsule」(ケアカプセル)の本格展開を開始しました。

同社の遠藤隆博ヘルスケア事業推進部長は次のように述べています。「現状では予防医療や健康相談などは後回しにされがちで、プライマリケアが十分に提供されているとは言いがたい。こうした社会課題をビジネスチャンスと捉えて、専門家チームによる一人ひとりに合ったサービスを提供していく。さまざまなケアをギュッと詰め込み、お客様の健康をサポートする小さなカプセルのような存在を目指す」(『激流』2025年6月号より)。

同社が取り組む地域密着の小さな拠点は、健康ビジネス変革のヒントになるかもしれません。

本日も最後までお読み頂きありがとうございます。それでは次号をお楽しみに！



会員制健康ビジネスコンサルタント。ウェルネスビズ株式会社代表取締役。東京都出身。イオンで22年間、フィットネスと小売事業の現場および本社で様々な職種に従事した後、2007年に同社を退社。同年、会員制健康ビジネス領域で事業展開する中小・ベンチャー企業の経営不安を丸ごとサポートするコンサルティング会社を設立。会員数拡大、客単価向上、継続月数増を掛け合わせた「儲かる事業構築の仕組み」導入により、全国各地に高収益企業を多数生み出している。現在は、コンサルティング、講演、セミナー、執筆活動等を行っている。

お問い合わせ先

ウェルネスビズ株式会社

お問い合わせ先: <https://www.wellness-biz.jp/contact>

会社URL : <https://www.wellness-biz.jp>

TEL: 03-4530-6263

FAX: 03-3562-7822

〒104-0061

東京都中央区銀座1-3-3

G1ビル7階 1180号

免責事項

このニュースレターで提供された情報およびアドバイスによって起きた問題に関しては一切、当方やライターに責任や義務は発生しません。ここでの情報や助言を参考にした判断は、当然ですが、すべて読者の責任において行ってください。